

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費(ジャンプ競技場等)	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	---------------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山シャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		
2 指定管理者			
名称	株式会社 札幌振興公社		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 4 複数施設を一括指定の場合、その理由: ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。		

業務の範囲	【ジャンプ競技場】 (1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務 【ミュージアム】 (1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務
3 評価単位	施設数:4 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため

II 令和4年度管理業務等の検証

項 目	実施状況			指定管理者 の自己評価	所管局の評価																	
1 業務の要求水準達成度																						
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。			管理方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。	A B C D 管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。 旅行需要の回復により来場者数が増加したため、電気・水道使用量は増加したが、その他の項目は環境配慮について継続して取り組んでおり、評価できる。																	
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。																					
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。			R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業がなく、旅行需要の回復により来場者数が増加したため、電気・水道ともに使用量が増加した。燃料については人工降雪機の稼働が降雪が少なかったことによる稼働が増えたR3年度に比べて減少したため、大幅に減少した。紙使用量は、電子化や書類等の簡略化に努めることで削減することができた。今後も目標達成に向け各社員が環境への配慮を意識し継続して取り組み、削減に努めていきたい。																		
	<table><tr><th>項 目</th><th>R3実績</th><th>R4実績</th><th>前年対比 削減率</th></tr><tr><td>電気使用量の削減</td><td>1,126,985</td><td>1,256,454</td><td>111.5% 11.5%</td></tr><tr><td>水使用量の削減</td><td>12,484</td><td>15,381</td><td>123.2% 23.2%</td></tr><tr><td>ガソリン・軽油使用量の削減</td><td>7,390</td><td>3,939</td><td>53.3% △ 46.7%</td></tr><tr><td>事務用紙使用量の削減</td><td>137,500</td><td>125,000</td><td>90.9% △ 9.1%</td></tr></table>					項 目	R3実績	R4実績	前年対比 削減率	電気使用量の削減	1,126,985	1,256,454	111.5% 11.5%	水使用量の削減	12,484	15,381	123.2% 23.2%	ガソリン・軽油使用量の削減	7,390	3,939	53.3% △ 46.7%	事務用紙使用量の削減
項 目	R3実績	R4実績	前年対比 削減率																			
電気使用量の削減	1,126,985	1,256,454	111.5% 11.5%																			
水使用量の削減	12,484	15,381	123.2% 23.2%																			
ガソリン・軽油使用量の削減	7,390	3,939	53.3% △ 46.7%																			
事務用紙使用量の削減	137,500	125,000	90.9% △ 9.1%																			
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。 計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。 教育・研修計画に基づき研修等を実施した。 AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。			計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。	職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。																	

	▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。	今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題の改善に努めていきたい。																	
	▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。 また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。	業務計画に沿って適正な再委託を行った。																	
	▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table><tr><th>開催日</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>6/24</td><td>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和4年度の活動計画 要望事項</td></tr><tr><td colspan="2"><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</td></tr><tr><td>6/21</td><td>第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 議題:4月～6月までの業務報告 (施設利用状況等について)</td></tr><tr><td>11/4</td><td>第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:7月～9月までの業務報告 (施設利用状況等について)</td></tr><tr><td>1/30</td><td>第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:10月～12月までの業務報告 (施設利用状況等について)</td></tr><tr><td>3/20</td><td>第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:1月～3月までの業務報告 (施設利用状況等について)</td></tr><tr><td colspan="2"><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者</td></tr></table>	開催日	協議・報告内容	6/24	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和4年度の活動計画 要望事項	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		6/21	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 議題:4月～6月までの業務報告 (施設利用状況等について)	11/4	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:7月～9月までの業務報告 (施設利用状況等について)	1/30	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:10月～12月までの業務報告 (施設利用状況等について)	3/20	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:1月～3月までの業務報告 (施設利用状況等について)	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者		協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取組んだ。 次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。	札幌市や関係団体との協議を定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。 特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。
開催日	協議・報告内容																		
6/24	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和4年度の活動計画 要望事項																		
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者																			
6/21	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 議題:4月～6月までの業務報告 (施設利用状況等について)																		
11/4	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:7月～9月までの業務報告 (施設利用状況等について)																		
1/30	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:10月～12月までの業務報告 (施設利用状況等について)																		
3/20	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題:1月～3月までの業務報告 (施設利用状況等について)																		
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者																			
	▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) 指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。	適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。																	
	▽ 要望・苦情対応 利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。	お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。	要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っている。																
	▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。	過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。																	

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。	適切な労務管理に努めた。	A B C D 法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) 利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)に設置したAEDの点検等を行ったが、その使用についてAED講習はコロナウイルス感染症拡大の為、R4年度は実施しなかった。 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事業部内に掲示し緊急時に備えた。	計画に沿った管理運営の中で、個人情報の保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も引き続き安心・安全な施設運営体制を構築していきたい。また、例年実施していたAED講習を今年度も実施できなかったため、R5年度からは再開したい。	A B C D 計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) 施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 なお、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。 ※委託業務の内容については、別紙1のとおり	業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。	
	▽ 防災 防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。(11月・3月) 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。(4月)	今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。	

(4)事業の計画・実施業務	▽ オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務	R4年度は、2年に渡るコロナ禍が収束傾向にあったため、概ね計画に沿った実施となった。 北京オリンピック・パラリンピックを振り返る写真展において、選手が本大会で使用した用具を併せて展示し、2月の感動を再び呼び起こすことで集客を図った。 また、継続して実施しているゴールデンウィークイベントやノルディックウォーキングイベントでの参加者も堅調であった。 オリンピック・パラリンピック招致活動の一環として、出張ミュージアム及び物品の貸出しを積極的に実施した。招致活動のみならず、市民のウィンタースポーツ及びパラスポーツに対する意識の向上や普及の効果が期待できた。 H29年度から開始したオリ・パラ教育は2年ぶりに予定どおり実施することができ、最終68校の学校が当該事業に参加した。講師として招いたオリンピアン・パラリンピアンと講演内容の調整やスライドの作成を行うとともに、各学校からの希望に合わせた学習となるよう、学芸員と教諭が密に連絡をとるようにし、好評価を得た。また、初の試みとなるオンラインによるオリ・パラ教育の実施を行った。この試行を基に運用を改善することにより、オリ・パラ教育の更なる展開が期待できる。 11月19日から特定天井改修工事のため休館となり、この期間を活用して開館時には取り組むことが難しい収蔵庫の整理に着手した。膨大な作業量のため、今後も継続して作業を進めていきたい。	A	B	C	D
	①自主研修の場の提供(303校来場) ②教育普及活動(特別展示5回、イベント9回) ③実習の受入れ(0校) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、受け入れを中止した。 ④常設展示 1階壁面ショーケース、2階オリンピックゲームコーナー、パラリンピックコーナー、柱展示の更新を行った。(1階アイスホッケー選手用具展示コーナーにおいてスマイルジャパンの横断幕を追加、2階の壁面及び柱展示において東京2020大会及び北京2022大会後の情報更新を始めとした展示更新) ⑤校外学習(小学校69校、中学校7校、高等学校0校、大学2校で実施) ⑥オリンピック・パラリンピック教育 札幌市教育委員会のオリ・パラ教育推進事業の研究校に指定された68校(昨年度65校)を対象に実施した。 実施にあたっては、ミュージアムの学芸員を中心に阿部館長や北海道オールオリンピアンズから紹介を受けてオリンピアン・パラリンピアンに講師を依頼し、各講演内容について個別に調整を行うことで、競技種別ごとの特長等を活かした授業となるよう努めた。 また、各学校とは児童の学年や地域等によって授業内容を事前に教諭と調整し、児童の興味を湧かせながらより理解を深める授業になるよう努めた。 更に、特定天井改修工事期間の11月下旬以降、学校とミュージアムをオンラインで繋いだオリパラ教育を試行的に実施した。 ⑦収蔵品データベース化 展示物・収蔵品の調査データを229件追加登録。(現在14,922件を登録) ⑧収蔵品の収集・調査・研究・展示 ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示 ・冬季オリンピック北京大会関連資料の収集および調査・研究・展示(株式会社土屋ホーム、株式会社アフロ等) ・寄贈された資料の調査研究(鈴木靖氏、森脇仁子氏等) ・オリンピアン・パラリンピアン用具収集・展示(藤本那菜氏、中村直幹氏ほか) ⑨館内イベント 1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中で行われる「オリンピック・デー」イベントとして、北京オリンピック・アイスホッケー日本代表の藤本那菜選手によるトークショーとアイスホッケー疑似体験イベントを実施した。 ⑩OMN総会出席 10月にOMN総会がハイブリッド開催され、コロナウィルス感染症による海外渡航の先行きが不透明であったことから、昨年に引き続きオンライン出席により、当館の現状と情報交換を行った。 ⑪スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト実行委員会への参加(文化芸術振興費補助金『地域と共働した博物館創造活動支援事業』) 秩父宮記念スポーツ博物館・日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアム、中京大学スポーツミュージアム及び当館の5館が連携し、文化遺産としてのスポーツ資料を継承・啓発するための連携プロジェクトを継続している。 本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況下におけるオンライン形式での打ち合わせや学生とのワークショップなどを通して、新たな生活様式の中でのスポーツミュージアムの可能性を議論した。 ※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり	札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えただけでなく、令和2年から設置している北海道オール・オリンピアンズの拠点を活かし、来館者とオリンピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行うほか、令和4年度は試行的にオンラインでの授業を行い、学習効果の向上や運用改善に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。				

	▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務 競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めた。 また、イベント・会議・展示会場として、競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。 文科省より受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業(NTC)では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。	ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。 NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していききたい。	個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設として取り組みを継続している。																																																																																																				
(5)施設利用に関する業務	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>R3決算</th><th>R4計画</th><th>R4決算</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">大倉山ジャンプ競技場</td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>1,097</td><td>1,200</td><td>1,269</td></tr> <tr> <td>競技利用回数</td><td>48</td><td>60</td><td>75</td></tr> <tr> <td>大会・公式</td><td>18</td><td>19</td><td>19</td></tr> <tr> <td>その他催物</td><td>9</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr> <td>本部棟会議室</td><td>35</td><td>20</td><td>35</td></tr> <tr> <td>テレビ中継装置</td><td>8</td><td>8</td><td>11</td></tr> <tr> <td>来場者</td><td>133,246</td><td>427,000</td><td>272,929</td></tr> <tr> <td colspan="4">宮の森ジャンプ競技場</td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>2,764</td><td>3,000</td><td>2,484</td></tr> <tr> <td>競技利用回数</td><td>119</td><td>124</td><td>131</td></tr> <tr> <td>大会・公式</td><td>13</td><td>12</td><td>9</td></tr> <tr> <td>来場者</td><td>8,660</td><td>30,000</td><td>11,423</td></tr> <tr> <td colspan="4">荒井山シャンツェ</td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>1,630</td><td>2,800</td><td>2,083</td></tr> <tr> <td colspan="4">オリンピックミュージアム</td></tr> <tr> <td>有料観覧者</td><td>41,866</td><td>53,700</td><td>62,038</td></tr> <tr> <td>無料観覧者</td><td>19,063</td><td>30,300</td><td>27,423</td></tr> <tr> <td>観覧者合計</td><td>60,929</td><td>84,000</td><td>89,461</td></tr> <tr> <td>多目的ホール</td><td>0</td><td>8</td><td>0</td></tr> <tr> <td colspan="4">大型映像車</td></tr> <tr> <td>利用回数</td><td>11</td><td>30</td><td>29</td></tr> </tbody> </table> ▽ 不承認0件、取消し0件、減免32件、還付0件 施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。 また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。 ※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり ▽ 利用促進の取組 イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。 自主事業として7月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習での使用におけるジャンプ台使用料を無料とし、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めた。	区分	R3決算	R4計画	R4決算	大倉山ジャンプ競技場				競技利用者	1,097	1,200	1,269	競技利用回数	48	60	75	大会・公式	18	19	19	その他催物	9	3	7	本部棟会議室	35	20	35	テレビ中継装置	8	8	11	来場者	133,246	427,000	272,929	宮の森ジャンプ競技場				競技利用者	2,764	3,000	2,484	競技利用回数	119	124	131	大会・公式	13	12	9	来場者	8,660	30,000	11,423	荒井山シャンツェ				競技利用者	1,630	2,800	2,083	オリンピックミュージアム				有料観覧者	41,866	53,700	62,038	無料観覧者	19,063	30,300	27,423	観覧者合計	60,929	84,000	89,461	多目的ホール	0	8	0	大型映像車				利用回数	11	30	29	R4年度はコロナウイルス感染症の影響が弱まりつつあり、下半期にかけて旅行需要が回復したためR3年度に比べて来場者が大きく増加した。また、コロナ前まで実施していたイベントを再開したことや、旅行会社などが主催するイベントを積極的に誘致したことなども来場者増加の要因となった。 ジャンプ台利用者についてはコロナによる休業期間がなかったこともあり、練習や利用者が増加した。 ミュージアム利用者は11/19～3/25まで特定天井改修工事のため休館となったものの、旅行需要の回復の影響を受けて大幅な利用増となった。 年間を通して必要な感染防止対策をしっかりと行いつつ、施設運営を行うことができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。 新型コロナウイルス感染症の収束に伴う旅行需要の回復やイベントの積極的な誘致により、昨年度に比べ来場者が大きく増加した。	A	B	C	D				
区分	R3決算	R4計画	R4決算																																																																																																				
大倉山ジャンプ競技場																																																																																																							
競技利用者	1,097	1,200	1,269																																																																																																				
競技利用回数	48	60	75																																																																																																				
大会・公式	18	19	19																																																																																																				
その他催物	9	3	7																																																																																																				
本部棟会議室	35	20	35																																																																																																				
テレビ中継装置	8	8	11																																																																																																				
来場者	133,246	427,000	272,929																																																																																																				
宮の森ジャンプ競技場																																																																																																							
競技利用者	2,764	3,000	2,484																																																																																																				
競技利用回数	119	124	131																																																																																																				
大会・公式	13	12	9																																																																																																				
来場者	8,660	30,000	11,423																																																																																																				
荒井山シャンツェ																																																																																																							
競技利用者	1,630	2,800	2,083																																																																																																				
オリンピックミュージアム																																																																																																							
有料観覧者	41,866	53,700	62,038																																																																																																				
無料観覧者	19,063	30,300	27,423																																																																																																				
観覧者合計	60,929	84,000	89,461																																																																																																				
多目的ホール	0	8	0																																																																																																				
大型映像車																																																																																																							
利用回数	11	30	29																																																																																																				
A	B	C	D																																																																																																				

(6)付随業務	▽ 広報業務 ・イベントやジャンプ大会に関する情報をHPに掲載することに加え、SNS(Twitter、Instagram)で情報を発信することでより広く周知することができた。 ・市内観光施設、ホテル等へのパンフレット設置やポスターの掲示を依頼し、イベント開催時には大倉山周辺の町内会や店舗にチラシの配布等を行い、良好な関係を構築するとともに施設PRと利用促進に努めた。 ・広告宣伝については、首都圏向けにweb広告(Tver)を実施したほか、市民、道民向けにTVCMの放映を行い、リフトの夜間営業および施設の認知向上と誘客を行った。 ・HPについては問い合わせ専用のメールアドレスを設置し、利用者からの問い合わせ等に対応した。また、大倉山及び札幌オリンピックミュージアムHPにおいてwebアクセシビリティチェックを行い、webアクセシビリティに準拠したHPの運用を行った。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。	HPに加えてSNSでも運行情報を発信することで利便性を高めることができた。また、SNS上でタイムリーな情報発信を行うことでフォロワー数や閲覧数を増やすことができた。今後は旅行需要の回復に合わせて広告宣伝やインバウンド向けのPRも行い、引き続きホテルや周辺町内会と連携しながら広報業務に努めていきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。 今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。 </td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。 今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。			
A	B	C	D								
ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。 今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。											
2 自主事業その他											
▽ 自主事業 ジャンプ競技場、ミュージアムの活用 ○展望台リフト特別夜間営業の継続実施 日本新三大夜景及び日本夜景遺産に選ばれた大倉山からの夜景を楽しんでもらうべく、夏期営業期間における通年夜間営業(21:00まで)を今年度も実施した。 ・期間:令和4年4月29日(土)～令和4年10月31日(日) ・利用者数:7,297名(期間合計) ○ビックラ!! スポフェス in 大倉山 スキー・ジャンプ・サッカー・バスケットボールなどの各種体験教室のほか、AR技術を利用した新しいボルダリング体験など様々なスポーツの体験イベントを実施した。 ・期間:令和4年10月9日(日)・10日(月) ・来場者数:3,477人 ○ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山 さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的として札幌市中央区と共催した。 ・期間:令和5年2月19日(日) ・来場者数:500人 ※その他集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり	新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、計画通りにイベントを開催することができた。特に今年度初めて実施したスポフェスは家族連れをはじめ多くの来場者があり、施設とスポーツの魅力を感じてもらえた。また、自主イベント以外にもRed Bull 400をはじめとした各種イベントも開催され、来場に繋がった。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かしたイベント等の自主事業を実施していきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、新型コロナウイルスの影響により開催できていなかったイベントを再開するほか、新たなイベントを実施し、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を生かした自主事業を実施することに期待する。 </td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、新型コロナウイルスの影響により開催できていなかったイベントを再開するほか、新たなイベントを実施し、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を生かした自主事業を実施することに期待する。				
A	B	C	D								
展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、新型コロナウイルスの影響により開催できていなかったイベントを再開するほか、新たなイベントを実施し、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を生かした自主事業を実施することに期待する。											
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用した。また、警備係員として障がい者1名を雇用している。	特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用を努めた。									

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	A	B	C	D
実施方法	通年で山頂展望ラウンジとミュージアム1階・2階にアンケート用紙を設置し、利用者が任意で記入したものを回収。 回答者数:728名(展望ラウンジ/587名 ミュージアム/141名)		接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。			
結果概要	【年齢】 10代(10歳未満含む):272名、20～30代:175名、40～50代:160名、60代以上:56名、無回答65名 【来場回数】 初めて:548名、2回:100名、3～5回:44名、6回以上:27名、不明・無記入:9名 【地域】 市内:169名、道内:49名、道外:452名、海外:23名、不明・無記入:9名 【接客】 大変良い:388名、良い:200名、ふつう:95名、やや悪い:4名、悪い:8名、無記入33名 接客満足度98% [(大変良い388+良い200)÷(全体728-ふつう95-無記入33)=0.98] 【施設を知ったきっかけ】 テレビ・ラジオ等:79名、新聞・観光誌:119名、紹介:169名、インターネット:143名、旅行会社:25名、その他193名 【次回の来場】 是非利用したい:318名、機会があれば:323名、利用しない:34名、無記入:53名 【総合満足度】 大満足:340名、満足:191名、ふつう:99名、やや不満:15名、不満:12名、無記入71件 総合満足度95% [(大満足340+満足191)÷(全体728-ふつう99-無記入71)=0.9516]					
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 リフトに乗る前にチケット必要だという看板が欲しかった 【対応】 ミュージアムからリフト乗り場に向かう動線上に案内サインを設置した。 【その他意見】 ・ジャンプ練習しているところを見られて感動しました。 ・質問した事を色々調べて下さり、とても親切でした。 ・夜景がすごくきれいでした ・体験できるものをもう少しリアルにしてくださいと、とてもおもしろいです。 ・(施設を)綺麗に維持管理していて嬉しいです					

4 収支状況

▽ 収支

(千円・税抜)

項目	R4計画	R4決算	差
収入	219,707	245,995	26,288
指定管理業務収入	209,067	227,759	18,692
指定管理費	155,431	177,500	22,069
利用料金	53,636	50,259	▲ 3,377
その他	0	0	0
自主事業収入	10,640	18,236	7,596
支出	263,637	279,173	15,536
指定管理業務支出	220,945	235,843	14,898
自主事業支出	42,692	43,330	638
営業外収入	0	7,599	7,599
営業外支出	0	101	101
収入-支出	▲ 43,930	▲ 25,680	18,250
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 43,930	▲ 25,680	18,250

▽ 説明

・収入については、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、休業期間がなかったことや旅行需要が回復基調にあったことから利用者数が増加し、自主事業収入（グッズショップ・カフェ収入）が計画より増収となった。利用料金収入はミュージアムの特定天井改修工事による休業期間があったため、計画を下回った。指定管理費は、水光熱費高騰分の補填や、ミュージアムの上記工事による休業補償により増加した。

・支出については、水光熱費の上昇などにより当初計画から費用が増加する形となった。

・結果として収支は▲25,680千円（税抜）となった。

R4年度は新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、利用者数が増加したため、自主事業収入をはじめとした収入が大きく増加した。次年度においては観光需要が本格的に回復すると見込まれることから、来場につながる魅力ある施設づくりを行い、収支の安定化に努めていきたい。

A B C D
ミュージアムの特定天井改修工事による休業のため利用料金収入は計画を下回ったが、新型コロナウイルスの収束による旅行需要の回復に伴い、自主事業収入が計画を大幅に上回り、収支が計画より改善している。今後も安定した収入確保及び更なる経費削減に努めることを期待する。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応

各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。

適 不適

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、旅行需要回復の兆しがみられ、観光客を始めとする来場者数が徐々に回復していった。また、施設利用者数も増加し、感染防止対策に十分配慮しながら札幌市や地域住民と連携しつつ施設運営をすることができた。 ミュージアムについては、概ね計画に沿った活動ができた。ミュージアム内で開催した特別展示は北京オリンピック・パラリンピック写真展のみであったが、出張ミュージアムや物品貸出による他施設でのイベント開催に協力することにより、来場者にオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツへの関心と理解を深めていただけた。取組ができた。オリンピック・パラリンピック教育に関しては計画どおり実施でき、計68校の学校の受入れを行い、各学校から好評価を受けた。試行したオンライン版オリ・パラ教育は学校に趣旨をご理解いただき、運用することができた。また、「スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト」においては、コロナ禍が続いていたことからオンライン会議を中心にスポーツミュージアム同士の連携や知識向上のための意見交換を密にし、貴重品を扱う博物館資料の重要性を今一度考える契機となった。 自主事業としては、ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山をはじめとする各種イベントを開催することができたほか、新規イベントのビックラ！！スポフェス in 大倉山は来場者から好評を得ることができ、施設の魅力向上と情報発信をすることができた。また、夏期は引き続きリフト夜間営業やシャトルバス「大倉山夜景号」運行など札幌の主要な夜景観光施設としての魅力を高めることができた。 全体としてコロナ前の状況に戻りつつある中、社会情勢に合わせた対応を行い、ジャンプ競技の普及振興および競技力向上につながる施設づくりと札幌を代表する観光施設としての魅力づくりに努めることができた。	ジャンプ競技場としての運営については引き続き競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営を継続し、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備を図っていききたい。 ミュージアムについては、日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムだけでなく日本のスポーツ関連の博物館とも交流を深め、日本独自のスポーツミュージアムネットワークを構築し、情報共有を積極的に行いながら、オリンピック招致の機運醸成となるように教育、研究、イベント等に取り組んで参ります。またオリンピック・パラリンピック教育についてはR5年度も引き続き積雪に伴う交通障害による緊急的な実施に対応できるよう、オリンピック・パラリンピアンと連携し授業の内容を充実させる他、オリンピック・パラリンピアンとの関係性をより拡充し、当ミュージアム独自のイベント開催と各種展示会にも繋げて参りたい。 自主事業については自主イベントを継続して実施するほか、ショップの商材の拡充や大倉山ウェディングなどの新規企画の実施など、施設の来場につながる施策を実施していききたい。 今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」を念頭に施設の運営管理を行うとともに、札幌市を代表する観光施設として、更なる魅力度向上と施設の利用促進に努めていききたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。 ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。 ミュージアムについては、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。 また、自主事業についても、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっているが、ウィンタースポーツフェスタin大倉山を継続して開催しているほか、新規イベントのビックラ！！スポフェス in 大倉山を開催するなど、札幌の主要な夜景観光施設としての魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。 今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」及び「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する」ことを念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRIに努めていただくよう期待する。	本年度において、特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。

再委託業務内容	業務の場所
夜間常駐警備業務	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山ジャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山ジャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山ジャンツェ
リフト保守管理業務	宮の森ジャンプ競技場
パイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
シアター映像装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山ジャンツェ
インラン整備機保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(ブリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイロローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山ジャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
収蔵品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
展示演出定期保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

1 自主研修の場の提供

令和4年度内に小・中・高等学校・養護学校合わせて303校が来館した。
(小学校129校、中学校80校、高等学校70校、養護学校24校、高専0校)

2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

① 北京オリンピック&パラリンピック2022報道写真展	観覧人数	32,624
② バイアスロン体験 in 大倉山	参加人数	426
③ 阿部館長によるバックヤードツアー	参加人数	52
④ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	23
⑤ オリンピック・デー記念特別イベント 藤本那菜選手トークショー&アイスホッケー疑似	参加人数	801
⑥ イオンdeパラスポinイオンモール札幌発寒～みんなでパラスポーツを応援しよう！～	観覧人数	500
⑦ イオンdeパラスポinイオンモール札幌苗穂～みんなでパラスポーツを応援しよう！～	観覧人数	565
⑧ こども夏休みワークショップ・作って遊ぼう！スポーツ×工作	観覧人数	88
⑨ ボッチャ体験	参加人数	1,079
⑩ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	40
⑪ 2030年北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致PRイベント！ inイオンモール平岡(出張ミュージアム)	観覧人数	580
⑫ れきぶんモニターツアー2022さっぽろ文化財散歩	参加人数	27
⑬ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	17
⑭ 1972札幌五輪メモリアル展示会(出張ミュージアム)	観覧人数	900

3 常設展示

2階オリンピックゲームスコーナー及びパラリンピックコーナーの壁面展示・柱展示キャプション内容を東京2020大会・北京2022大会後の情報へ更新。2階特別展示室宮様スキー大会優勝者名簿を更新。2階メダリスト用具コーナーを更新。2階札幌1972レガシーコーナーにジャネット・リン特設展示を新規設置。1階アイスホッケー用具紹介コーナーにスマイルジャパン横断幕を追加。

Ⅱ 令和
4年度管

4 校外学習

- ① 大学関係・・・2校
(北海道科学大学、岩見沢教育大学)
- ② 高校関係・・・0校
- ③ 中学校関係・・・7校
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立八条中学校、その他・・・蘭越町立蘭越中学校、石狩市立樽川中学校等)
- ④ 小学校関係・・・69校(オリンピック・パラリンピック教育・・・68校、その他1校)
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立篠路小学校、札幌市立真駒内桜山小学校、札幌市立苗穂小学校等、その他・・・士別市立上士別小学校)
- ⑤ 実習等・・・0校

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、可能な限り対面での質疑応答対応をお断りし、紙面での回答で対応しておりました。実習の受け入れに関しては、学校側との協議により新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、今年度の受け入れを中止いたしました。ただし、オリンピック・パラリンピック教育に関しては、札幌市教育委員会、札幌市との協議の上、実施いたしました。

5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中（令和4年度 229件・290点登録、登録累計 14,922件・総数量40,169点 ）

6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究

・寄贈された資料の調査・研究

（オリンピック・パラリンピアン…鈴木靖氏、中村直幹氏等、

一般の方…森脇氏、仁子氏、太田氏等

関連団体…札幌市役所、(株)アフロ、(株)土屋ホーム、(有)名寄土管製作所等）

令和4年度ジャンプ競技場等使用実績
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

別紙 3

1 施設別一般来場者数(月別)

(単位:人)

区分	大倉山	宮の森	ミュージアム					
			総人数	大人	高齢者	団体	小中学校	免除
4月	10,156	538	4,238	2,566	116	497	846	213
5月	18,912	1,106	9,114	5,465	143	1,013	1,992	501
6月	20,896	1,032	10,387	5,235	228	1,677	2,593	654
7月	25,401	1,073	12,322	7,353	166	579	3,621	603
8月	48,019	1,282	18,390	11,118	463	618	5,596	595
9月	28,815	921	12,827	7,377	233	1,569	2,980	668
10月	34,545	1,002	13,995	5,831	297	4,261	2,822	784
11月	15,716	970	4,942	2,352	250	589	1,401	350
12月	16,748	763	0	0	0	0	0	0
1月	22,058	869	0	0	0	0	0	0
2月	14,536	737	0	0	0	0	0	0
3月	17,127	1,130	3,246	1,714	64	264	1,061	143
合計	272,929	11,423	89,461	49,011	1,960	11,067	22,912	4,511

2 札幌オリンピックミュージアム利用料金(使用料)関係

(1) 観覧料

35,869,680 円

(2) 多目的ホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(3) ライブラリー

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	
小計			0

(4) エントランスホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

Ⅱ 令和4年度管理業務等の検証

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月22日	登別市立登別中学校 研修旅行講義	—	1,100
6月13日	札幌市立平岸小学校 校外学習	—	2,200
8月6日	北海道スキー連盟 北海道スキー連盟加盟団体会長懇談会	—	2,200
9月11日	札幌市篠路茨戸地青少年育成委員会 研修	—	1,100
10月5日	厚別区連合女性部連絡会議 研修	—	1,100
11月10日	札幌商工会議所専門学校 講演	—	1,100
11月12日	札幌国際大学 オリンピック教育	—	2,200
小計			11,000

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計

35,880,680

3 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)-1 ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	12	28,100	337,200
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	3	28,100	84,300	12月	6	28,100	168,600
7月	11	28,100	309,100	1月	10	28,100	281,000
8月	10	28,100	281,000	2月	1	28,100	28,100
9月	10	28,100	281,000	3月	0	28,100	0
小計	63						1,770,300

(1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
7月	6	28,100	168,600	9月	3	28,100	84,300
8月	1	28,100	28,100	10月	2	28,100	56,200
小計	12						337,200

(2) 公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月28日	第35回UHB杯ジャンプ大会・第64回NHK杯ジャンプ大会公式練習	5割減免	14,050
1月6日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	5割減免	14,050
1月27日	第34回TVh杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
2月11日	第64回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
3月4日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ラージヒル	10割減免	0
3月17日	第24回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割減免	14,050
小計			70,250

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月6日	第23回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減免	0
8月7日	チャレンジカップ2022大倉山サマージャンプ大会	5割減免	14,050
10月29日	第35回UHB杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
10月30日	第64回NHK杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
1月7日、8日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	5割減免	91,700
1月9日	第65回HBCカップジャンプ競技大会	5割減免	45,850
1月14日	第50回HTBカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	5割減免	45,850
1月15日	第62回STVカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	5割減免	45,850
1月20日～22日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	5割減免	137,550
1月28日	第34回TVh杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
2月12日	第64回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
3月5日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ラージヒル	10割減免	0
3月18日	第24回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割減免	45,850
小計			610,100

(4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月22日	レッドブル・ジャパン RedBull400	—	263,800
6月9日	札幌市制100周年記念イメージ映像の撮影	—	28,100
10月2日	Hi in Japan Presents SAPPORO MUSIC FESTIVAL	—	668,750
12月1日～4日	HISイベント	—	2,111,120
12月27日	花火イベント	—	480,790
2月4日	NHK「生中継！さっぽろ雪まつり」撮影	—	263,880
2月19日	ウィンタースポーツフェスタin大倉山	—	240,390
小計			4,056,830

(4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	0
小計			0

(5)運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月10日	札幌ジャンプ少年団 父母会	—	2,730
4月14日	テレビ朝日 インタビュー控室(報道ステーション)	—	4,550
4月24日	荒井山町内会 総会	—	1,820
4月24日	札幌スキージャンプ少年団	—	1,820
5月15日	荒井山町内会 荒井山町内会役員班長会	—	1,820
5月16日	ニルスソメット宮の森管理組合 会議	—	2,360
6月18日	ニルスソメット宮の森管理組合 会議	—	2,730
7月1日	札幌市立南発寒小学校 休憩所利用	—	910
7月14日	百合が原小学校 荷物置き・昼食会場	—	2,730
8月18日	電通北海道 撮影準備	—	910
8月31日	帯広市立西小学校 昼食会場	—	1,820
9月11日	札幌市篠路茨戸地区青少年育成委員会 昼食会場	—	2,730
9月15日	マカロニ写真事務所	—	7,280
9月21日	レバンガ北海道 ドワイト・ラモス選手入団会見	—	1,820
9月24日	全日本スキー連盟 FISジャッジ・TDセミナー	—	6,370
9月27日	札幌市生涯学習振興財団 さっぽろ市民カレッジ「札幌百科」	—	2,360
10月12日	市立札幌北翔支援学校 控室	—	1,820
10月14日	札幌市立厚別中学校 校外学習昼食会場	—	910
10月15日	日本ノルディック協会 講習会	—	5,460
10月20日	アーバン警備保障 アーバン警備保障・防災訓練座学	—	6,370
10月21日	荒井山町内会 会議	—	1,820
10月23日	荒井山町内会 町内会打ち合わせ	—	1,820
10月24日	札幌市立東橋小学校 昼食場所	—	910
10月26日	日本テレビ インタビュー撮影	—	1,820
11月3日	えんれいしゃ 2030オリパラ招致企画記事撮影・取材	—	1,820
11月16日	NHK札幌拠点放送局 二階堂蓮選手取材	—	3,640
11月18日	札幌テレビ放送 ニュース取材	—	1,820
12月6日	アシックスユニオン 会議	—	1,820
12月20日	道新サービスセンター道新観光 クリスマスクラフト作りとうたごえ	—	3,640
2月3日	NHK「生中継! さっぽろ雪まつり」撮影	—	19,080
2月14,15,20,21日	コンプライアンス研修(自主事業)	—	12,740
3月19日	荒井山町内会	—	1,820
3月26日	卒団式	—	3,640
3月26日	昼食会場	—	910
3月31日	NTC使用分	—	92,820
小計			209,440

(6)観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(7)エントランス広場ステージ

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(8)テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月29日	第35回UHB杯ジャンプ大会	-	197,000
10月30日	第64回NHK杯ジャンプ大会	-	197,000
1月6日～8日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	197,000
1月6日・7日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	197,000
1月9日	第65回HBCカップジャンプ競技大会	-	197,000
1月14日	第50回HTBカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	-	197,000
1月15日	第62回STVカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	-	197,000
1月19日～21日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	197,000
1月22日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	197,000
1月28日	第34回TVh杯ジャンプ大会	-	197,000
2月12日	第64回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	197,000
小計			2,167,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計

9,221,120

4 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	18	28,100	505,800
5月	0	28,100	0	11月	6	28,100	168,600
6月	26	28,100	730,600	12月	0	28,100	0
7月	24	28,100	674,400	1月	3	28,100	84,300
8月	10	28,100	281,000	2月	16	28,100	449,600
9月	22	28,100	618,200	3月	6	28,100	168,600
小計				小計	131		3,681,100

(2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
3月2日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ノーマルヒル	10割減免	0
3月3日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ノルディックコンバインド	10割減免	0
3月6日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会2023	5割減免	14,050
小計			14,050

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月5日	第40回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割減免	0
2月4日	雪印メグミルクカップ2023ジャンプ大会	—	45,850
3月1日	第51回札幌オリンピック記念スキージャンプ競技大会	10割減免	0
3月3日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ノーマルヒル	10割減免	0
3月4日	第94回宮様スキー大会国際競技会 ノルディックコンバイント	10割減免	0
3月7日	伊藤杯ノルディックコンバイント競技大会2023	5割減免	45,850
小計			91,700

(4)イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	—
小計			0

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計

3,786,850

5 荒井山シャンツェ利用状況

(1)ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	2	40	10月	24	245
5月	26	462	11月	4	46
6月	26	306	12月	0	0
7月	31	323	1月	13	195
8月	23	190	2月	4	62
9月	25	214	3月	0	0
小計				178	2,083

6 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
5月2日	写真	大倉山	大和証券 投資資料	-	1,500
5月13日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 RedBull400の特訓ロケ	-	15,000
5月14日	テレビ	大倉山	エル・ディ・エル 「水バラ ビンゴ対決旅」撮影	-	15,000
5月15日	テレビ	大倉山	テレビ東京制作 「水バラ ビンゴ対決旅」撮影	-	15,000
5月20日	テレビ	大倉山	レッドブル・ジャパン NORD YouTube撮影	-	15,000
5月22日	テレビ	大倉山	レッドブル・ジャパン RedBull400 大会中継及び記録映像	-	16,950
5月30日	写真	大倉山	東京美装興業 HP制作のためのスキー部員の撮影	-	1,500
6月7日	写真	大倉山	北海道新聞 札幌市制100年記念新聞紙面	-	1,500
6月9日	テレビ	大倉山	雪印メグミルクスキー部 雪印メグミルクスキー部HP、SNS他使用素材の撮影	-	15,000
6月9日	テレビ	大倉山	nice 札幌市制100周年記念イメージ映像の撮影	-	15,000
6月15日	テレビ	大倉山	日テレ アックスオン ヒルナンデス番組撮影	-	15,000
6月15日	写真	大倉山	いちたかガスワン 会社SNS用掲載写真撮影	-	1,500
6月16日	テレビ	大倉山	日本テレビ 「ヒルナンデス」番組撮影	-	15,000
6月17日	写真	宮の森	いちたかガスワン 会社SNS用掲載写真撮影	-	1,500
6月22日	テレビ	大倉山	ライブプロ 札幌観光名所を紹介(札幌観光大使フルーティー)	-	15,000
7月7日	写真	大倉山	コーセー化粧品北海道支店 インスタグラム投稿写真撮影	-	1,500
7月29日	テレビ	大倉山	MEDIA CORP シンガポールの番組	-	15,000
8月3日	写真	大倉山	フリーカメラマン 浅野大助 東海大選手撮影・写真展展示写真	-	1,500
8月18日	テレビ	大倉山	電通北海道 北海道観光振興機構における北海道PR映像作成	-	15,000
8月25日	写真	大倉山	ライター伊藤はるな 「みちぐさガイド」北海道エリアの記事取材	-	1,500
8月28日	写真	大倉山	カルフル ウェディングフォト撮影	-	1,500
9月8日	写真	大倉山	アンティル webサイト中部国際空港PR	-	1,500
9月15日	映画	大倉山	マカロニ写真事務所 映画 ウインドガール撮影	-	31,000
9月26日	テレビ	大倉山	日本放送協会 おはよう日本/筋肉体操撮影	-	15,000
9月26日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 葛西選手インタビュー番組収録	-	15,000
9月30日	テレビ	大倉山	ジニアス ドラマ「PICU」で用いるための風景撮影	-	15,000
9月30日	テレビ	大倉山	クロステレビジョン北海道支社 TV番組「夢へチャレンジ」収録	-	15,000
9月30日	写真	大倉山	札幌観光バス 札幌観光バス株式会社販促用画像のため	-	1,500

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
10月1日	テレビ	大倉山	JTB グローバルマーケティング & トラベル 情報番組の制作	-	15,000
10月2日	テレビ	大倉山	AI AGENT Hi in Japan Presents SAPPORO MUSIC FESTIVAL	-	22,800
10月5日	テレビ	大倉山	札幌医科大学 札幌医科大学紹介動画	-	15,000
10月6日	写真	大倉山	博報堂DYスポーツマーケティング 宣材写真撮影	-	1,500
10月13日	映画	大倉山	井上デザイン組立室 映画 ウィンドガール撮影	-	31,000
14年度管理業務等	写真	大倉山	ノワン 札幌市MICE振興および誘致に関わるセールス素材作成	-	1,500
10月19日	テレビ	大倉山	JTB グローバルマーケティング & トラベル 情報番組の制作	-	15,000
10月20日	テレビ	大倉山	札幌映像プロダクション ドラマ撮影	-	15,000
10月28日～30日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 第64回NHK杯ジャンプ大会	-	45,000
10月28日・29日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 第35回UHB杯ジャンプ大会	-	30,000
11月3日	写真	大倉山	えんれいしゃ 2030オリパラ招致企画記事撮影	-	1,500
11月16日	テレビ	大倉山	NHK札幌拠点放送局 二階堂蓮選手取材	-	15,000
12月2日	テレビ	大倉山	HIS 花火イベント撮影	-	17,430
12月7日	テレビ	大倉山	北海道放送 メタバースコンテンツの製作に伴う撮影	-	15,000
12月21日	テレビ	大倉山	玄米酵素 パースディメッセージ撮影	-	15,000
12月22日	写真	大倉山	札幌国際プラザ 海外ウェブメディア取材	-	1,500
12月27日	テレビ	大倉山	グレートスカイアート 二階堂蓮選手取材	-	17,430
1月6日～8日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	45,000
1月6日・7日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	37,290
1月9日	テレビ	大倉山	北海道放送 第65回HBCカップジャンプ競技大会	-	15,000
1月14日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 第50回HTBカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	-	15,000
1月15日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 第62回STVカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	-	15,000
1月20日・21日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	39,720
1月22日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	15,000
1月27日・28日	テレビ	大倉山	テレビ北海道 第34回TVh杯ジャンプ大会	-	30,000

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
2月4日	テレビ	大倉山	NHKエンタープライズ NHK「生中継! さっぽろ雪まつり」撮影	-	19,860
2月7日	テレビ	大倉山	JTB Youtube撮影	-	15,000
2月12日	テレビ	大倉山	北海道放送 第64回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	15,000
2月13日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 「北のことばお兄さん」撮影	-	15,000
2月15日	テレビ	大倉山	JTBグローバルマーケティング&トラベル ハワイ情報番組作成	-	15,000
2月22日	テレビ	大倉山	京王エージェンシー 2024年京王グループカレンダー使用作品候補	-	1,500
3月11日	テレビ	大倉山	ビーエスフジ(株)モチベーション テレビ番組内札幌の紹介(ドキュメンタリー)	-	15,000
計					872,480

7 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
5月22日	レッドブル・ジャパン RedBull400	-	105,090
6月17日～18日	十勝水系音更川総合水防演習	-	545,800
6月25日～26日	ガーデンフェスタ北海道2022		570,220
7月2日、3日	ガーデンフェスタ北海道2022	-	526,420
7月9日、10日	ガーデンフェスタ北海道2022	-	526,420
7月12日、13日	令和4年度 全国都市緑花祭	-	559,060
7月16日	第50回全道消防救助技術訓練指導会	-	232,140
7月17日、18日	ガーデンフェスタ北海道2022	-	548,320
7月23日、24日	ガーデンフェスタ北海道2022	-	548,320
7月26日～28日	NTT東日本北海道グループと陸上自衛隊北部方面隊と 共同防災演習	-	742,150
8月6日	第23回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減免	0
8月7日	チャレンジカップ2022大倉山サマージャンプ大会	10割減免	0
8月28日	北海道マラソン2022	-	267,180
9月3日	令和4年度総合防災訓練	-	206,620

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
10月1日	札幌市民スポーツ大会	10割減免	0
10月1日・2日	第47回札幌マラソン	10割減免	0
10月29日	第35回UHB杯ジャンプ大会	－	31,000
10月30日	第64回NHK杯ジャンプ大会	－	31,000
1月7日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	－	24,800
1月8日	FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	－	32,860
1月9日	第65回HBCカップジャンプ競技大会	－	39,060
1月14日	第50回HTBカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	－	45,260
1月15日	第62回STVカップスキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2023	－	39,060
1月20日・21日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	－	74,400
1月22日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	－	47,120
1月28日	第34回TVh杯ジャンプ大会	－	37,200
2月4日・5日	第43回札幌国際スキーマラソン大会	10割減免	0
2月11日・12日	第64回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	－	68,820
3月18日	第24回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	－	24,800
計			5,873,120

大型映像車利用料金収入合計			5,873,120
内 訳	場内(ジャンプ)		495,380
	場内(その他)		105,090
	競技場以外		5,272,650

令和4年度 集客イベント実績

別紙 4

① 展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。

1. 内容 大倉山展望台リフト特別夜間営業
2. 期間 令和4年4月29日(土)～令和4年10月31日(日) 18:00～21:00
3. 利用者数 7,297名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

② 北京オリンピック&パラリンピック2022報道写真展

北京オリンピック・パラリンピックに出場した選手たちの活躍とアスリート同士の国境を超えた友情や特殊な環境下で行われた大会の記憶を振り返る写真展。大会公式ユニフォームや公式グッズ、大会出場選手が実際に使用した用具などの展示も行った。

1. 内容 北京オリンピック・パラリンピックの感動を振り返る写真展
2. 期間 令和4年4月29日(金)～令和4年7月31日(日)
3. 観覧者数 32,624名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

③ 大倉山ゴールデンウィークイベント2022はる祭り

ゴールデンウィーク期間限定でこどもえんにち祭り、ピクニック、ドッグランを実施。
また、ヌーベルブースより限定テイクアウトメニューを販売。

1. 内容 ヨーヨー、スーパーボール、お菓子など子供向けの縁日を実施し、芝生エリアをピクニックやドッグランエリアとして
2. 期間 令和4年4月29日(金)～令和4年5月5日(木)
3. 参加者数 (1)こどもえんにち祭り 726名
(2)ドッグラン 6名
(3)ピクニック 1名 ※参加者実績による

④ バイアスロン体験in大倉山

日本バイアスロン連盟の協力の下、冬季オリンピック採用種目であるバイアスロンの疑似体験をすることができる体験イベントを開催した。北京オリンピックのバイアスロン日本代表選手をインストラクターとして招聘した。

1. 内容 専用シミュレーターによるバイアスロン射撃体験
2. 期間 令和4年5月4日(水)・5日(木) 各日10:00～15:00
3. 体験者数 (1)令和4年5月4日(水) 239名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による
(2)令和4年5月5日(木) 187名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による

⑤ 阿部館長によるバックヤードツアー

スキージャンプ競技の裏側の舞台を知ることができるツアー。当館館長であり、1994年リレハンメル五輪・ノル複合団体金メダリストの阿部雅司館長が案内し、本部棟やスタートゲートなど普段入ることのできない場所を巡

1. 内容 阿部館長によるスキージャンプ競技のバックヤードを巡るツアー
2. 期間 令和4年5月5日(木)
(1)11:00～12:00
(2)13:30～14:30
3. 参加者数 (1)27名 ※ツアー参加者の人数実績による
(2)25名 ※ツアー参加者の人数実績による

⑥ Red Bull 400 2022

最大斜度37度の大倉山ジャンプ台をコースとし、世界10か国以上で開催される、最も過酷なラージヒル逆走400mレース。個人フルディスタンス400m、4人で100mずつを走るリレーが行われた。当日はDJブースを積んだイベントカーや、絶品料理が堪能できるキッチンカーが出展した。

1. 内容 大倉山ジャンプ台を駆け上がるプロアマ問わず参加できる400mのタイムレース
2. 期間 令和4年5月22日(日)
3. 参加者数 680名 ※参加者数の実績による

⑦ **オリンピック・デー記念特別イベント 藤本那菜選手トークショー & アイスホッケー疑似体験**

1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中で行われる「オリンピック・デー」と題するイベントの1つとして、冬季オリンピック北京大会が開催されたことにも因み、オリンピズムに加え「アイスホッケー」の普及と振興を目的に、藤本那菜選手によるオリンピックでの経験を語っていただくトークショーとアイスホッケーの疑似体験ができるイベントを開催した。

1. 内容 藤本那菜選手によるトークショー及びアイスホッケー疑似体験
2. 期間 令和4年6月25日(土)
3. 参加者数 (1)トークショー 38名 ※参加申込者の人数実績による
(2)アイスホッケー疑似体験 801名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑧ **こども夏休みワークショップ・作って遊ぼう！スポーツ×工作**

北海道科学大学の協力の下、家庭にあるもので「リ्यूージュ」「ブラインドサッカー迷路」「マスコット」「ポッチャ」「的当て」の5種類の作品を作る工作体験イベントを開催した。

1. 内容 小学生を対象にした夏休み工作ワークショップ。
2. 期間 令和4年8月11日(水)
3. 参加者数 88名 ※参加者数の実績による

⑨ **High in Japan presents Sapporo music festival “Nature High 2022”**

株式会社AI AGENT主催の音楽イベントを開催。会場内では5カ所のDJステージやBARコーナーを設置し、20組以上のアーティストが音楽に乗せて日本新三大夜景の絶景と感動をお届けする野外フェスティバル。

1. 内容 日本新三大夜景の絶景と感動を届ける野外音楽フェスティバル。
2. 期間 令和4年10月2日(日)
3. 参加者数 350名 ※チケット販売実績による

⑩ **ビックラ！！スポフェスin大倉山**

スキージャンプ・サッカー・バスケットボールなどの各種体験教室のほか、AR技術を利用した新しいボルダリング様々なスポーツの体験イベントを実施した。イベントに伴い、キッチンカーやヌーベルプースのイベント限定屋台も出

1. 内容 スポーツ体験教室、ARスポーツ体験、スタンプラリー等
2. 期間 令和4年10月9日(日)・10日(月)
3. 来場人数 3,477人 ※スタンプラリー用紙配布枚数より算出

⑪ **SAPPORO WINTER SKYART-KIZUNA-**

株式会社エイチ・アイ・エス主催の札幌市内初開催となる「ドローンショー」を「音楽」で繋ぎ、今までにない、新し音によるエンターテインメントとして開催した。

1. 内容 ドローン×花火×音楽の特別ショー。
2. 期間 令和4年12月1日(木)～12月4日(日)
3. 観覧人数 2,055名、券売1,304名 ※主催者報告実績による

⑫ **札幌冬花火2022**

株式会社グレートスカイアート主催の花火大会を開催。当日は雪景色の中、約3,000発の花火を打ち上げ、大倉過去最大の花火大会。花火終了後は、札幌オリンピックミュージアムANNEXでダンス&ボーカル&DJユニット特典会を行った。

1. 内容 音楽に合わせて打ち上げる花火大会。
2. 期間 令和4年12月27日(火)
3. 観覧人数 190名 ※チケット販売実績による

⑬ **ウィンタースポーツフェスタin大倉山**

さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的として札幌市中と共催した。

1. 内容 チューブすべり、そりあそび、雪上パークゴルフなど
2. 期間 令和4年2月19日(日)
3. 参加者数 500名 ※参加者数の実績による